

本籍 福島縣華族
 本人申出
 明治二十年
 八月廿九日

本籍	福島縣華族	舊藩	姓名	林 權助
位		生年	舊姓	
勳		月日	名	
町			姓	
生			名	
國			姓	
郡			名	
年號	月日	任叙轉免出張賞罰等	資格	官 衙
明治二十年	八月廿九日	帝國大學法科大學政治學科卒業		
		任交際官試補		
		叙奏任官五等		
		年俸六百圓下賜		
		翻譯局兼事務局勤務ヲ命ス		
		任副領事		
		叙奏任官五等		
		芝罘在勤ヲ命ス		
		下級年俸下賜		
		仁川在勤ヲ命ス		
		上級年俸下賜		
		在朝鮮仁川領事館出納官夫ヲ命ス		
		御用有之歸朝ヲ命ス		
		歸朝		
		任領事		
		叙奏任官四等		
		上級年俸下賜		
		歸任ノ上京城へ出張ス		
		叙正六位		

宮内省

本貫 福島縣 華族
 本姓 林
 舊姓 權助

本貫	福島縣	華族	藩	舊	名	姓	林
位			生年	舊姓	名	權	
勳			月日	名	姓	助	
町村							
年號	明治	月日	任叙轉免出張賞罰等	辭令書アルモノハ此欄内ニ記入ス	資格	官	衙
明治	十年	五月	帝國大學法科大學政治學科卒業				
			任交際官試補				
			叙奏任官五等				
			年俸六百圓下賜				外務省
			統翻譯局兼報局勤務ヲ命ス				同
			任領事				
			芝罘在勤ヲ命ス				外務省
			下級年俸下賜				同
			壬午五月				同
			仁川在勤ヲ命ス				同
			上級年俸下賜				同
			明治十年一月十六日				同
			在朝鮮仁川領事館出張官夫ヲ命ス				同
			四月廿日				同
			御用有之歸朝ヲ命ス				同
			六月廿日				同
			歸朝				同
			八月廿日				同
			任領事				同
			叙奏任官四等				同
			上級年俸下賜				外務省
			八月九日				同
			歸任上京城出張ス				同
			八月廿日				同
			叙正入位				宮内省

四年	三月三日	定公使館領事館費用條例	外務省
	四月一日	上級俸下賜	外務省
	八月廿六日	官等俸給令ヲ廢シ俸給制ニ改ム	宮内省
	十月一日	叙從六位	宮内省
五年	三月廿九日	上海在勤ヲ命ス <small>在仁川領事館出納官吏ヲ免ス</small>	外務省
		在上海總領事館出納官吏ヲ命ス	同
		清國鎮江審波 ノ 兼轄ヲ命ス	同
	十月三日	改文武高等官職等級表	同
六年	十月十日	廢官	内閣
		任一等領事	内閣
		叙高等官五等	外務省
		賜一級俸	外務省
明治六年	十月十日	倫敦在勤ヲ命ス	外務省
	十月廿日	歸朝ヲ命ス	同
	十月廿五日	歸朝	同
元年	九月四日	任公使館一等書記官	内閣
		叙高等官四等	外務省
		賜三級俸	外務省
		英國在勤ヲ命ス	同
	十月廿日	叙正六位	宮内省
	十月廿日	改外交官官等俸給	宮内省
	十月八日	賜二級俸	外務省
二年	十月廿日	賜暇歸朝	外務省
三年	十月十五日	賜一級俸	同
		清國在勤ヲ命ス	同

宮内省

七年七月廿一日	敘勲五等授雙光旭日章	賞勲局
十月廿日	陞敘高等官三等	内閣
	賜二級俸	外務省
十月廿五日	歸朝	
十月廿九日	任外務省通商局長	内閣
	敘高等官二等	
十年十月廿日	敘正五位	宮内省
十月廿七日	文官普通懲戒委員ヲ命ス	外務省
十一月一日	任特命全權公使	内閣
	敘高等官二等	
	韓國駐劄被仰甘	内閣
十月廿日	敘勲四等授瑞寶章	賞勲局
十年十月廿日	陞敘高等官一等	内閣
	賜二級俸	外務省
十年十月廿日	敘從四位	宮内省
十月廿日	明治十年清國事變ニ於ケル功ニ依リ勲三等旭日中級章ヲ授ケ賜フ	賞勲局
	敘勲三等授旭日中級章	
十年十月廿日	韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル聖壽	
	十年稱慶記念章ヲ受領シ及佩用スルヲ允ス	
十年十月廿日	韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勲一等	同
	大極大級章ヲ受領シ及佩用スルヲ允ス	
	賜一級俸	外務省
九年十月廿日	清國駐劄被仰甘	内閣

明治十年十月廿日
 賜二級俸
 賜一級俸
 同
 外務省
 内閣
 賞勲局
 宮内省
 内閣
 内閣
 外務省
 賞勲局
 内閣
 内閣
 外務省
 宮内省
 外務省
 内閣

四月一日	敘勳一等授旭日大綬章			
甲午二月九日	賜金三千円 三十二年事件功			賞勳局
	清國頭等第三雙龍寶星受領ニ 及ニ佩用允許			同
十月四日	依勳功特授男爵			同
甲午二月五日	敘正四位			宮内省
十月六日	任特命全權大使			内閣
	伊國駐劄被仰付			内閣
三十九年四月一日	明治三十八年從軍記章授與			賞勳局
甲午十月六日	伊國羅馬ニ於テ開設セラルヘキ萬國 農事協會第二回總會ニ委員トシテ 参列被仰付			内閣
十月六日	伊大利國「サン・モリス」エラサル第一等			内閣
	勳章受領及ニ佩用允許			賞勳局
明治甲午四月一日	改高等官俸給々々			
十月六日	伊國羅馬ニ於テ開設セラルヘキ萬國 農事協會第三回總會ニ委員トシテ 参列被仰付			内閣
十月六日	同上委員被免			同
甲午二月五日	敘從三位			宮内省
大正元年八月一日	韓國併合記念章授與			賞勳局
二年九月廿三日	勳一等旭日大綬章ニ属スル年金			
甲午十月一日	六百四十円ヲ賜フ			同
五年二月三日	敘正三位			宮内省
八月四日	伊國駐劄被免			内閣
	兼任特命全權公使			内閣

	十月四日	瑞西國「ロザンヌ」ニ於テ開催ノ近東 平和會議ニ全權委員トシテ参列被仰付	内閣
	十月十日	叙從二位	宮内省
	十月九日	宮内省御用掛被仰付	同
		英國駐劄被免	内閣
		待命中本俸三分ノ一ヲ賜フ	外務省
	十月一日	大不列顛國皇帝陛下ヨリ贈與シタル 「ナイト・グランド・クロス・セント・マイケル・エニド・セント・ ミカエル」勳章ヲ受領シ及シ佩用スルヲ允許 セラル	賞勲局
	十月七日	雍仁親王殿下御外遊隨行被仰付	宮内省
昭和二年	十月十日	依願宮内省御用掛被免	同
三年	九月十日	待命満期	
昭和三年	十月十日	恩給年額三千七百五十円又給	宮内省
	十月十日	授旭日桐花大綬章	賞勲局
	四月十日	七十歳ノ高齢ニ付脚紋付銀杯並 酒肴料下賜セラレタリ	
	十月十日	英國皇族「グロスター」公殿下接伴員被仰付	宮内省
	十月十日	任式部長官 <small>親任 七千円</small>	同
	三月十日	大禮記念章授與	賞勲局
	六月十日	暹羅國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「 カア・レレ・ファン・ブラン」勳章ヲ受領シ及シ 佩用スルヲ允許セラル	同
	十月一日	宮内官官等俸給令中改正	
		年俸六千二百円	
七年	八月四日	維新史料編纂會委員被仰付	内閣

		三月一日	滿洲國皇帝陛下、贈與シテ、 <small>（皇太后御下）</small>								
		九年三月十日	雍仁親王殿下滿洲國へ被差遣ニ付隨行被仰付								宮内省
		三月十日	任樞密顧問官 <small>（皇太后御下）</small>								内閣
		八月五日	敘正二位								
		三月十日	白耳義國皇帝陛下、贈與シタル								
			グレンクロー、レオポール勳章ノ受願シ及佩用スルヲ允許セラル								賞勳局
		十年二月廿一日	滿洲國皇帝陛下接伴員被仰付								宮内省
		三月一日	除服出仕被仰付 <small>（皇太后御下）</small>								内閣
		九月廿一日	滿洲國皇帝陛下、贈與シタル滿洲帝國皇帝訪日記念章ノ受領シ及佩用スルヲ允許セラル								賞勳局
		十年三月一日	宗秩寮審議官被仰付								宮内省
		十年二月九日	滿洲國皇帝陛下、贈與シタル一位能志大佐章ノ受領シ及佩用スルヲ允許セラル								賞勳局
		十年六月六日	滿洲國皇帝陛下、贈與シタル銀製花瓶壹箇、文帳ノ付、御用食								内閣
		十年一月六日	八十歳ノ高齡ニ付御紋付銀五錢、御看料下賜セラレタリ								
			特旨ヲ以テ宮中杖ヲ差許サレタリ								
		育若	敘從一位								
			特旨ヲ以テ位一級被進								宮内省
			薨去								

三月一日。滿洲國皇帝陛下、贈與シテ、（皇太后御下）

賞勳局